

広報

EBETSU

えべつ

あなたとまちをつなぐ

目次

- 6 特色ある「小中一貫教育」
- 7 配偶者のパート収入額によって住民税、配偶者の控除が変わります ほか
- 19 リチウムイオン電池による火災にご注意ください
- 20 無料相談窓口・後期【保存版】
- 22 SNS で著名人が勧める「もうかる方法」に注意 ほか

2026

11

vol.1045

特集

なんか、楽しそう。

そんな一歩がつながっていく

市民交流施設「ぷらっと」で慈善バザーが開催されました。会場には衣料品や雑貨などが並び、多くの人が買い物に訪れました。同時開催されたクリエイターズマーケットでは、来場者がハンドメイド作品を手に取りながら、つくり手と作品について会話を交わしていました。(10月12日撮影)

特集

なんか、楽しそう。

そんな一歩がつながっていく



江別市内では、イベントや地域での取り組みなど、さまざまな場面で人と人が関わっています。何かをつくる人や得意なことを生かす人、場所を提供する人、取り組みを支える人など、関わる人の役割はさまざまです。

普段、私たちが目にする催しの一つ一つにも、こうした人の関わりがあります。上の写真は、「江別市民活動見本市」の様子です。市内の市民活動団体が集まり、展示や体験を通して日頃の活動を紹介していました。会場に並ぶ作品や展示から、江別で活動する団体の取り組みを知ることができるイベントです。

こうした催しには、おのおのが持つ知識や経験、得意なこと、提供できる場所など「できること」が生かされています。誰かの「できること」と別の誰かの「できること」がつながること、新しい取り組みが始まったり、これまでの活動が広がりたりすることがあります。また、ふとした出会いや相談をきっかけに、新たなつながりが生まれることもあります。

今回の特集では、イベントや取り組みの裏側で、どのような人が関わっているのか、「できること」がどのようにつながっているのか、江別で生まれているさまざまなつながりをたどりながら、「協働」について紹介します。

【詳細】市民生活課 ☎ 381-1124

市民活動のつながりを支えて20年

NPO法人えべつ協働ねっとわーくは、今年、設立20周年を迎えました。市民活動に関する相談支援や情報発信などを行う事務局長の成田裕之さんに、人や活動の「つながり」がどのように生まれ、広がっていくのかを聞きました。

つながりは何気ない会話から

えべつ協働ねっとわーくでは、活動に役立つ情報を提供したり、市民活動をしている人や団体からの相談に乗ったりしています。

相談者とやりとりする中で、「こんな活動もあるんだ」と話が広がり、人や活動が自然につながることがあります。相談の内容によっては、「それなら、こんな団体がありますよ」と紹介することもあります。

最初から「この人とこの人をつなごう」と考えているわけではありません。何気ない会話から、別の人や団体につながっていくことが多いです。私自身もいろいろなイベントに足を運び、どんな人がいて、どんな活動をしているのかを知るようにしています。普段から人や団体を知っておくことで、相談を受けたときに「あの人なら」「あの団体なら」と思い浮かびます。そうした日頃の関わりが、人や活動をつなぐことに役立っているのだと思います。

自治会と子育て支援が、一つの場所につながった

私が間に入ってつないだわけではありませんが、地域で生まれたつながりの事例を一つ紹介します。約10年前、新栄団地の建て替えに伴い、住民の交流などに使われる集会施設の新栄会館が新しくなったところ、市役所から、それまで別の場所で行われていた「遊びの広場」をこの会館で開催できないかという話が持ち上がりました。

当時、新栄団地では住民の高齢化が進み、コミュニケーションを維持するために、若い世代の入居や人が集まれる場が必要とされていました。一方、子育て世代は、親子で過ごしたり、地域の人と交流したりすることができずを求めています。そこでつながったのが、新栄自治会と子育て支援ワーカーズきらきらです。

子育て支援ワーカーズきらきらが「遊びの広場」の企画や運営を担い、自治会は地域の人に声を掛けたり、活動を手伝ったりしました。単に場所を提供して、そこで子育て支援活動を展開してもらったわけではなく、それぞれがで



きることを持ち寄り、一緒に活動する中で、地域の人たちも関われる場になっていきました。

その後、活動は子育て世代だけではなく、地域のさまざまな世代が集まる「食育サロン e-たいむ」へと発展しました。今では、子どもから高齢者までが、同じ場所でするゲームやものづくりなどを一緒に楽しんでいます。

初めの一步から世界が広がった

何かを始めるのに、特別なきっかけが必要なわけではありません。以前、50代の男性が、えべつ協働ねっとわーくへボランティアとして来るようになった。きっかけは、

「このまま定年退職したら、急に何をやっていいかわからなくなる」と考えたからだだったそうです。

この方も最初から、地域のために何かをしようとか、自分の強みを生かそうとか、確かな目標があったわけではありません。何か一つやってみると、それまで知らなかった人や活動に出会えて、やってみたら楽しかったり、「こんな活動もあるんだ」「これも面白そうだな」と思うものが見つかってさうです。そうした経験を重ねるうちに、次の「やってみよう」へのハードルも、少しずつ下がっていったのだと思います。

それから約15年たった今では、青少年育成会、点字やミニバレーのサークル、健康マージャンなど、10近い活動にこの方は関わっています。始まりは、定年退職後のことを考えて踏み出した一歩でした。

この男性を見ると、一つ何か始めてみることで、これまで知らなかった人や活動との出会いが生まれたり、自分の世界が広がっていくきっかけになったりするんだと感じます。

つながりの専門家

NPO 法人えべつ協働ねっとわーく
事務局長 成田 裕之 さん



ほっとできる場所から、 世界が少し広がる

料理が得意な
パパ

×

子どもと遊ぶ
学生

×

子育ての
専門家



仕事や子育てに忙しいママが、食事をしながらゆっくり話せる「ママの夜会」。料理が得意なパパが食事を作り、学生が子どもと遊び、子育ての専門家がママの相談に乗るなど、それぞれができることをしています。ほっとひと息つきながら、地域とつながれる場所です。

NPO 法人つながり
ママの夜会

人の「できる」

がつながる

江別で生まれた「つながり」を紹介します

人形劇を教えられる人

×

人形劇をやってみたい人

「知っている」と
「やってみたい」が出会った



サンゴールド自治会
クリスマス会

地域で人形劇を始めたいという人たちに、あおむし人形劇団がノウハウを提供。その後、地域住民が「わらべ友の会」を立ち上げ、約10年にわたって人形劇の活動を続けました。

あおむし人形劇団 × わらべ友の会

得意なことが
地域の活動を支える

パソコンや ICT（情報通信技術）に詳しいメンバーが、自治会などにシステムの整備や使い方を教え、活動しやすい環境をつくっています。



パソコンや
ICT に詳しい人

×

地域で活動
する人

NPO 法人
シェロクリ

市内のつながりを知る

コラボのたね



市内の市民活動団体の活動内容やイベント情報などを紹介する情報発信サイトです。子育て、文化、福祉、まちづくりなど、さまざまな分野の取り組みを知ることができます。現在は 77 の団体が登録しています。興味がある分野から活動や、催しの情報を探すことができます。市内にあるたくさんの市民活動の中から、あなたにぴったりの団体を探してみませんか。



一緒に過ごす^が世代をつなぐ

世代の違う人たち

×

一緒に過ごせる場所



月に1回開かれている多世代交流サロンで、おしゃべりやものづくりなどが楽しめます。学生が子どもの遊び相手になったり、活動に参加したりすることもあります。

子育て支援ワーカーズきらきら
多世代交流サロン CoCo カフェ

野菜を買う。

それも、地域と関わる一步

障がいのある人など

×

地域の農業

障がいのある人や高齢者などが農作業に関わり、地域で育てた野菜を市内で販売しています。



NPO いまからえべつ
支え合う地域づくり (ノウフク)

お花に詳しい人

×

ボランティア

始まりは「花に詳しい」
という小さな得意



チームオレンジ
にりんそうの集い

野原を歩きながら見つけた花について話したことをきっかけに、地域のボランティアの協力を得て、認知症の人やその家族などが集まるようになりました。月1回ほど活動し、得意な楽器の演奏や季節の行事、花を探す活動などを楽しんでいます。

友好都市の
土佐市の文化

×

江別の語り芝居

土佐の文化が 江別の物語 に



語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭

うるうる亭は、友好都市の土佐市に伝わる即興劇の「北原俄」に感銘を受けて、江別での出来事などを題材にした「えべつ^{にわか}俄」を創作しました。笑いを交えた短い芝居で、市内各地で公演しています。

特集への感想をお待ちしています

▼ 郵送・ファクスで送る

〒067-8674 高砂町6 江別市広報広聴課宛て

FAX 381-1070

▼ HP アンケートフォーム

HPで「広報えべつ」を検索するか、
右の二次元コードを読み込んでく
ださい



アンテナをもうちよつと広げて

今回紹介したつながりは、何気ない会話や相談、「やってみよう」という思いなど、小さなことから始まりました。

こうした地域の活動は、ポスターや冊子、HP、SNSなど、さまざまなところで紹介されています。そこには、普段は気付かずに、見過ごしている情報があるかもしれません。

最初から大きなことを始めようと構える必要はありません。まずは「こんな活動があるんだ」「なんだか楽しそう」と、少し気になった情報にも目を向けてみましょう。いつもより少しアンテナを広げること、これまで知らなかった江別が見えてくるかもしれません。

8つの中学校区で展開している 特色ある「小中一貫教育」

小中一貫教育は、令和5年4月から市立小・中学校で導入され、今年度で4年目です。（モデル学区の第二中学校区は5年目）

市内8つの中学校区では、「目指す子ども像」とその具体指標となる「サブ目標」を実現するため、教育課程のつながりを大切にする「系統的な指導」、学習や生活のきまりをそろえた「一貫した指導」、中学校での体験授業や合同学習などで学び合う「相乗的・補完的な指導」を3つの柱として取り組んでいます。その成果は、生き生きと活動する子どもたちの姿に表れています。

来年度以降は、これまでの取り組みに加え、次期学習指導要領の改訂を見据えて、各種取り組みの改善・充実を図っていきます。
※各中学校区の取り組みの詳細は、各校のHPまたは二次元コードから江別市教育委員会通信「つながぎ つむぐ」をご覧ください

詳細 学校教育課
381-1058



PICK UP /

小学6年生の中学校登校

学習や人間関係などの環境が変わり、中学校生活になじめない「中1ギャップ」を和らげるため、小学6年生が中学校へ登校する体験を行っています。中学生にとっても、これから入学する後輩と接することが、自信や思いやりの心が育まれる機会になっています。

参加した感想



【江陽中に登校した6年生】

- ・1年生は当たり前のようにみんな発言していて、すごいと思った。
- ・3年生が自分たちで授業を進めて、思ったことをしっかりとっている姿に憧れた。

【第二中に登校した6年生】

- ・憧れの人を見つけた。
- ・部活動体験で、吹奏楽をやってみようと思った。
- ・一番すごいと思ったのは、みんな静かにすらすら文字を書いていたこと。

各中学校区の取り組み

中央・大麻東中学校区 乗り入れ授業 ～ 小学生の学習意欲の向上と、進学への不安を軽減 ～



中央中の体育科の先生が対雁小・中央小で新体力テスト種目の指導を行ったところ、専門的な指導によって児童の記録が伸びました。



大麻東中の理科・数学科の先生が、大麻泉小・大麻東小で授業を行ったところ、新たな知識への関心が高まりました。

野幌中学校区 教職員の連携・協働 ～ 「系統的な指導」や「一貫した指導」の効果を向上 ～

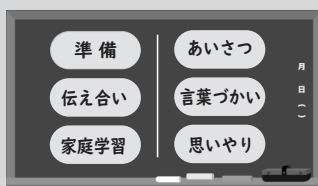


授業改善や校内研究を目的とした交流の一環で、野幌若葉小6年生の特設授業を、中学校区の先生が参観しました。



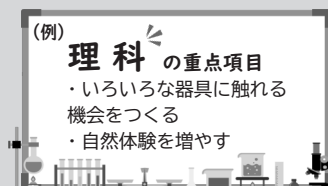
授業参観後の研究協議では、授業構成で意識していることや、授業の改善に向けた工夫について話し合いました。

第一・第三中学校区 学習と生活のスタンダード



第一小学校は2つの中学校区に属するため、2つの校区で学習と生活規律の重点項目をそろえています。

大麻中学校区 教科ごとの重点項目



大麻中学校区の先生が教科推進部会ごとに協議を重ね、小中9年間で重点的に指導する内容を全教科で決めています。

配偶者のパート収入額によって 住民税、配偶者の控除が変わります

住民税

パート・アルバイトの給与収入が年間119万円を超える場合は、翌年に住民税がかかります。（扶養親族の有無、または本人が未成年者、障がい者、ひとり親、寡婦であるなどの状況によって、住民税がかからない場合もあります）

配偶者控除など

今年中に夫婦双方に収入があり、一方がパート労働の場合、パートの収入が年間136万円以下の場合には配偶者控除、年間207万円以下の場合には配偶者特別控除が受けられます。

【詳細】 市民税課 市民税係
☎ 381-1012

配偶者の収入がパートなどの給与収入のみの場合

令和8年中の収入の金額 (カッコ内は所得金額)	配偶者自身に住民税がかかるか	配偶者控除の対象になるか	配偶者特別控除の対象になるか
119万円以下 (45万円以下)	かからない (非課税)	なる 住民税控除額 33万円	ならない
119万円超 136万円以下 (45万円超 62万円以下)	かかる	ならない	なる 住民税控除額 3～33万円
136万円超 207万円以下 (62万円超 133万円以下)			ならない
207万円超 (133万円超)			

※ 上表は控除を受ける本人（パート給与収入がある人の配偶者）の合計所得が900万円以下（給与収入のみの場合1,095万円以下）の場合です

※ 控除を受ける本人の合計所得が1,000万円（給与収入のみの場合1,195万円）を超える場合は、配偶者控除・配偶者特別控除は受けられませんが、パート給与収入がある人の給与収入額が136万円以下であれば、同一生計配偶者として扶養人数に含めることができます。なお、扶養人数は住民税の算定に使用されます。そのほかの場合はHPでご確認ください

※ 所得税については札幌東税務署（☎ 897-6111）にお問い合わせください。ガイダンスに従い「所得税」を選択してください



税法上の扶養と健康保険の扶養は異なります

健康保険の扶養に入ることができる条件は、自身の労働時間、労働日数、月額給与などによって異なります。詳しくは勤務先にご確認ください。

子どもの変化、見逃さないで

11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン期間」「ケアラー支援推進月間」です

【詳細】 子育て支援課 ☎ 381-1236

○児童虐待

虐待を受けている可能性がある子どもを発見したら、迷わずに相談してください。匿名で相談することができます。

●相談先（24時間対応）

児童相談所虐待対応ダイヤル ☎ 189

児童相談所相談専用ダイヤル ☎ 0120-189-783

○ヤングケアラー

お手伝いの範囲を超えて、家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども本人からの相談に応じています。子どもへの支援も行っています。

●相談先（24時間対応）

北海道ヤングケアラー相談サポートセンター

☎ 0120-516-086

子育て支援課では、啓発のため、出前講座を実施しています。詳細はお問い合わせください。